

Photo by Koichi Urashima

遠TONE音

Tone consists of three members who play the koto, the shakuhachi (Japanese traditional instruments) and the guitar. The inspiration for their music comes mostly from the scenery of Hokkaido, the northernmost island of Japan.

春のコンサート 2025

in Tokyo / Hokkaido

■ 東京 - Tokyo

4/20 SUN

エプタ・ザール

開演 15:00 開場 14:30
4,500円(税込)

■ 旭川 - Asahikawa

5/8 THU

旭川市神楽公民館 木楽輪

開演 15:00 開場 14:30
3,500円(税込)

■ 札幌 - Sapporo

5/9 FRI

渡辺淳一文学館

開演 14:30 開場 14:00
4,500円(税込)

～心のふる里、北海道と共に～

「遠TONE音」(とおね)は1988年に北海道で生まれ育った三塚幸彦(尺八)、小野美穂子(箏)、曾山良一(ギター)の3人により結成されました。グループ名の「遠音」は、「良い音は遠くまで澄んで聞こえる」という意味をもつ古くからの表現です。一方、TONEは英語の“音”。どちらもトーン・音に通ずる面白さからグループ名を「遠TONE音」にしました。そして、人真似でなはい、自分たちにしかできない音楽を追求し、行き着いたのが「自分たちが生まれ育った日本、生まれ故郷の北海道を音楽で語ること」でした。

自分達のふる里、北海道を語ること、それは日本を語ることであり、聴く人たちの心のふる里を思い起こさせることだったのです。フルートでも、リコーダーでもない尺八の音色の魅力と奥深さ。優しく語りかけ、現代のメロディーにも見事に調和する箏の音色。和楽器の可能性(魅力)を最大限に引き出し、日本の心を表情豊かに奏でるギター。

遠TONE音のサウンドで、聴く人の中にも北海道の広大な大地を広げたい、そう願っております。邦楽器を使いながら、伝統音楽という概念を超え、決して西洋音楽の真似事でもない音楽、それが「遠TONE音」です。

